

2025年12月23日
住友生命保険相互会社

日本のデジタル未来を牽引するリーダーを表彰 「CIO 30 Awards Japan 2025」において「タレント賞」を受賞

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、2025年12月12日に開催された日本のデジタル未来を牽引するリーダー表彰「CIO 30 Awards Japan 2025^{※1}」において「タレント賞^{※2}」を受賞しました。



(写真右：住友生命 岸エグゼクティブ・フェロー デジタル共創オフィサー)

※1 米国では「CIO 100 Awards」として、25年を超える歴史を持ち、数多くのグローバル企業がIT・デジタル変革の実績を通じて表彰されてきた、実績あるアワードです。「CIO 30 Awards Japan 2025」は、変革をリードし、実際にビジネス成果を生み出してきたCIOやITリーダー、そしてその取り組みに関わる企業を表彰する、国内初の本格的なアワードです。詳細は、<https://event.foundryco.com/cio-30-awards-japan/>をご覧ください。

※2 社内外におけるデジタル育成において多大なる貢献を表彰する賞

住友生命は、多様な人財がそれぞれの強みを活かし、公平な環境のもとで価値創造に挑戦できる組織づくりを重要な経営課題と位置づけ、人財育成に積極的に取り組んでいます。

特にIT・デジタル領域においては、技術スキルの向上に加え、事業理解と価値創出を両立できる人財育成が不可欠との考えのもと、次世代リーダーの育成を推進してきました。

本取組みは、健康増進型保険「住友生命“Vitality”」の開発時に顕在化した「ビジネスに強いIT人財の不足」という課題を起点に、社内外の知見を取り入れながら独自に構築した人財育成プログラムです。「誰が取り組んでも再現性のある研修」をコンセプトにITとビジネスを一体で捉え、価値創造を自ら実現できる人財の育成を目指しています。

本人財育成プログラムは社外向けにも実施しており、これまでに延べ 2,500 人以上の方に受講いただき、高い評価を受けています。

また、社内イノベーションにおいても具体的な成功事例も生まれています。

こうした社内外の人財育成活動を通じた取組みの拡がりが今回の評価につながったものと考えています。

住友生命は今後も社内外を巻き込んだ人財育成を通じて、職員一人ひとりの成長とウェルビーイング、そしてお客さま・社会への新たな価値提供に貢献していきます。

以上